

彼の国では支持率7%に低下で首相就任から45日目で辞任表明へ、この国では
充足1年余りで内閣支持率低下へ「支持しない」が「支持する」を逆転・
10月12日のゼミは、芦田文夫『資本に対抗する民主主義』Ⅱ部5章「2
1世紀・社会主義」のあり方と民主主義論、6章「金融化」と民主主義制
度の構造転換」を川口さんの報告で行いました。1980年代の経済改革で
生産手段の市場化が従来の社会主義経済システムと衝突する、原理的に市場
経済は私的所有としか両立しえない。実現可能な社会主義での市場経済のあり
方が問題。公的所有での企業の自主性と、労働者管理型企業論への民主主
義的制御、ユーゴ型自主管理の失敗、分配の平等化が問題。民主主義的変革
では社会的制度の構築と市民社会での信頼と同意、グローバル化と内的発展
の追及が必要。「市場—金融調整—社会保護—社会的パートナーシップ—
政治—民主的決定」のダイヤモンド図ができる。上からの改革の限界、アソ
シエーションに依拠した労働権・生存権・社会権を社会全体での確立が必要。
カネ・モノ、ヒト・テクノロジーのボーダレス化、国民国家システムの崩
壊により、「帝国主義」に代わり「帝国」が出現するが、国家と人権と民主
主義の設定物の重要性、労働の変容によるアトム化を指摘するが短絡的である。
討論では、中国の社会主義で市場経済だが、市場社会主義としてハンガリー、
ユーゴが失敗したが、中国は成長している。ウクライナの市場化はオルガル
ヒーにより腐敗している。中国はネット社会だがクレジットを信頼せず、ま
さに国独資体制。「帝国」概念はアメリカの力が強いとき。世界の主要な
資本家たちが競争しながらも連帯している。芦田氏が中国の問題にふれない
のはおかしい、資本主義化はロシアだけの問題ではない。共同・協同・協働：
いずれもアソシエーション、共有と運営のコモンが抜けているが。イギリス
では地域再生・コミュニティ再生があるが、格差・貧困が問題、アイルラン
ド問題、さらにスコットランドの独立の問題もある。出席は、小野さん、高
島さん、川口さん、山口さん、竹内さん(Zoom)、後藤さん(Zoom)、イギリス
留学中で初参加の松本朗さん(Zoom)と高田の9名でした。

* 10月26日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 854 3130 3751 パスコード: 572042

* 10月26日ゼミから、資本論第3部最後の第7篇に入ります。

***** ゼミ日程 *****

10月26日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』3巻7編48章 三位一体的定式 報告 小野さん

11月9日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
芦田文夫『資本に対抗する民主主義』Ⅲ部 1・2章 報告 高田

11月23日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』3巻7編49章 生産過程の分析によせて 報告者未定
その後 12/14(芦田本3・4章:高島さん)、12/28:アイクルの部屋